

新しい大陸に向けた航海

～何を船から投げ捨てますか？～

小学校・5～6年生

I プログラムについて

1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「権利と責任」）

＝【人権感覚育成のための視点】

欲しいものと必要なものとを区別する活動を通して、人間にとって必要不可欠な人権の重要性について考えようとする態度や、集団の一員として責任を果たそうとする態度を育てる。

2 関連する教科等について

○学級活動

内容項目（2） 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
（イ よりよい人間関係の形成）

3 人権教育上の視点

- （1）自分の権利だけでなく、集団の一員としての責任を果たそうとする態度を身に付けている。（価値・態度）
- （2）相手の気持ちを尊重しながら、自分の考えを適切に主張し、責任を遂行することができる。（技能）

II アクティビティーについて

1 概要

○活動1

各自が、体験活動「新しい大陸に向けた航海 ～何を船から投げ捨てますか？～」を実施し、新しい国には、何が必要なのかについて考える。

○活動2

自分の考えをもとに4～6人で話し合い、グループの考えをまとめる。何を捨てるかを決めた理由についてもグループでまとめる。

2 準備するもの

- 教師用読み物カード
- 荷物カード…個人用A3判、グループ用A2判（切り取って使用）

3 アクティビティーの進め方

- 活動1 「新しい大陸に向けた航海 ～何を船から投げ捨てますか?～」
 - ① 体験活動の説明を聞き、活動に見通しをもつ。
 - ② 荷物カード（個人用）に自分の考えを書く。
- 活動2 「話し合い」
 - ① 自分の考えをもとにグループで意見交換をし、グループとしての考えをまとめる。
- 活動3 「振り返り」
 - ① 活動を通して、気付いたことや考えたことを振り返る。
 - ・他者の考えに対する理解を深める。
 - ・権利と責任の大切さについて考えを深める。
 - ・今後への生かし方について考える。

4 アクティビティーを指導する際のポイント

- 荷物の順位付けが目的ではなく、「権利と責任」について考えを深めることが最大のねらいであることを指導する。
- 荷物カードの内容について十分確認し、よく考えて活動を行うよう指導する。
- 振り返りを通して、生きていくために必要だと思うものは人それぞれ違い、それらを認めることの大切さについても触れる。

III 授業の実際

時間	学習活動 発問（T） 児童の反応例（C）	教師の働きかけ（・） 人権教育上の配慮（◎）
5分	1 アイスブレイキング「仲間探し」 T 先生の言うテーマを聞いて、同じ仲間を探してください。例えば、「生まれた月」と言われたら、同じ月の人を探してください。 T 次は「出席番号の1桁目の数が同じ」の人を探してください。 C 他の人と一緒にうれしい。	・ルールの説明を簡潔に行う。 ・児童の緊張を和らげ、展開へとつなげる。
	2 学習内容（手順）の確認 体験活動（新しい大陸に向けた航海） 新しい国のみんなにとって本当に必要なものは何だろう	・本文◎を読む。

<p>3 個人による分類 (荷物カードへの記入)</p> <p>T 荷物カードについて、絶対に必要なものは○、欲しいものは△、いらぬものは×を太枠内に記入しましょう。</p> <p>T 自分の考えを友達と相談せずに記入しましょう。</p> <p>4 グループによる決定 (話し合い活動)</p> <p>T グループで話し合い、グループとして船の外に捨てる荷物を三つ選びましょう。</p> <p>T 捨てる荷物が決まったら、「①」と番号を書き、まとめておきましょう。(2回目は②、3回目は③)</p> <p>T 捨てなかった荷物を残した理由も書きましょう。</p> <p>5 各グループの意見発表</p> <p>T ○グループさんは「生きるために必要なもの」を全て持っていますか。また、「健康で、発展していくために必要なもの」を全て持っていますか。</p> <p>T もし「○○」(例:「教育」)を持たないとしたら、新しい国でどんなことが起こると思いますか。</p> <p>C 「教育」はなくても生きてはいけそうだけど、国が発展していかないと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分類だけに終始せず、そう考える理由を説明できるように促す。 ◎自分にだけでなく、みんなに大切なものという視点から考えられるように、「みなさんは力を合わせて」という点を十分踏まえて判断するように伝える。(価値・態度) ・児童に聞かれた場合、荷物はどれも同じ重さであると伝える。 ・本文①を読む。 ・グループごとに荷物カード(グループ用)を配布し、グループとしての意見をまとめられるようにする。 ◎安易に多数決で決めたりせず、互いの考えの理由を述べ合いながら、グループとして責任ある決定を目指すように助言する。(技能) ・本文②、③も同様に行う。 ・本文④、⑤を読む。 ・各グループの発表後に、「生きるために必要なものを全て持っているか」「健康で、発展していくために必要なものを全て持っているか」という2点をクラス全体に問いかけ、考えさせる。 ・人権は、人間が必要とするものであること、つまり、あらゆる人間が生存し、よりよく成長し、尊厳ある生活を送るために必要とするものであることを確認する。 ・単に生命が保たれているだけでは不十分であり、互いの権利を尊重し合うことが必要であることを確認する。
---	--

7 分	<p>6 振り返り</p> <p>T グループで今日の活動の振り返りをしましょう。</p> <p>C 自分の考えとは違う考えもあったが、理由を聞いたらその考えにも納得できた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で今日の学習を振り返るように指示する。 ・ねらいに沿った感想を出していたグループに感想を発表させ、学級全体で共有できるようにする。
--------	---	--

IV 資料

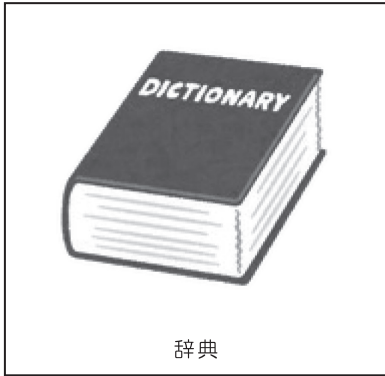
(1) 教師用読み物カード

新しい大陸へ向けた航海

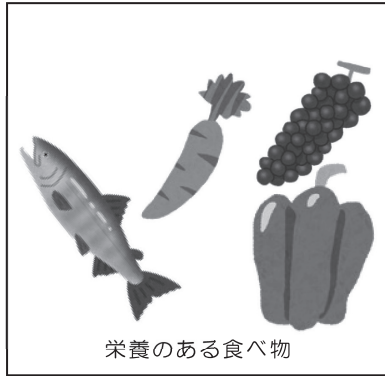
- ① これからみなさんは、だれも住んでいない新しい大陸に向けて、船に乗り出発します。新しい大陸で、みなさんは力を合わせて新たな国をつくり、生きていくこととなります。配布した22個の荷物は、新たな国をつくり、生きていくために用意したものです。大切に持っていきましょう。
- ② 初めは、航海はとても快適でした。太陽は輝き、海はおだやかです。しかし、大きな嵐が突然やってきて、船が揺れ動いています。船が沈まないように、荷物のうち三つを船の外に捨てなければなりません。しかし、一度捨てたらもう荷物は手に入りません。
- ③ やっと嵐がおさまりました。みんな本当にホッとしています。しかし、再び大きな嵐が船に向かって接近しています。かなりの速さです。生き残るためには、船の速度を上げる必要があります、また三つの荷物を捨てなければなりません。ただし、新しい国で必要であると思われるものは捨ててはいけないことを忘れないでください。
- ④ 荷物を捨てたことで、何とか大きな嵐を避けることができました。新しい陸地も見え始めましたし、ここまでくればもう大丈夫です。しかし、今度は巨大なクジラが船にぶつかって、船の横に大きな穴を開けてしまいました。船を軽くしないと新しい大陸までもちそうにありません。さらに三つの荷物を船から投げ捨ててください。
- ④ みなさんががんばりましたね。ついに新しい大陸にたどり着きました。そして、新しい国をつくる準備ができました。持ってきたものを全員が覚えておくことができるように、グループごとに1枚の紙にまとめます。
あなたたちは生きるために必要なものを全て持っていますか。十分に健康で、発展していくために必要なものは全て持っていますか。
- ⑤ 1グループずつ黒板の前で発表しましょう。(発表後、クラス全体に④の二重線部分について不足しているものはないかどうかを質問する。)

(2) 荷物カード (必要なもの…○ 欲しいもの…△ いらぬもの…×)





辞典



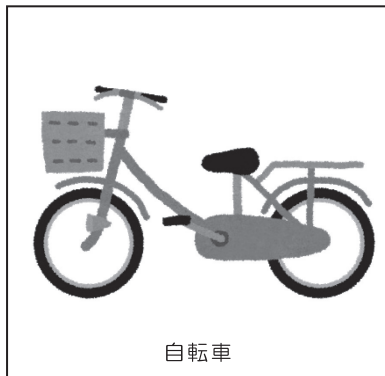
栄養のある食べ物



教育



医者



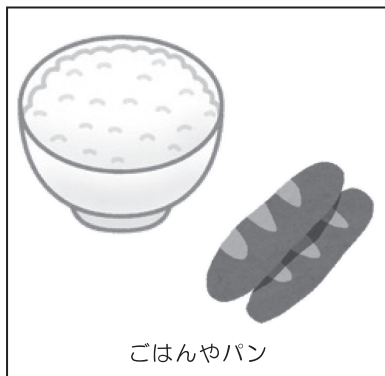
自転車



おもちゃとゲーム



おかし



ごはんやパン



あたたかい服



薬と予防接種

捨てなかった荷物を残した理由

V 出典・参考資料

- 「コンパシト【羅針盤】子どもを対象とする人権教育総合マニュアル」
（平成21年）ヨーロッパ評議会 企画、福田 弘 訳、
財団法人 人権教育啓発推進センター 発行